

内容市長の

ゆるやか「ラム

「お互いに尊重し合い

誰にでも優しいまちを目指して」



今年の白つつじは例年よりも遅めの開花となりましたが、白つつじまつりの期間中には満開となり、多くのお客様にお越しいただきました。長井を代表するながい黒獅子まつりにつきましても、たくさんの皆様にお越しいただき、大変にぎわいのある1日となりました。長井が誇れる文化のひとつである黒獅子舞を、今後も市民の皆様とともに受け継いでいきたいと思います。

さて、去る5月25日、長井市民文化会館にて、ラインベルガー像「ラインベルガーの飛翔―日出づる國の長井へ―」の除幕式が行われました。

ラインベルガーは、長井市が東京2020オリンピック・パラリンピック大会においてホストタウンとなった、リヒテンシュタイン公国出身の世界的な作曲家です。ラインベルガー像は、長井市の音楽芸術アドヴァイザーであり元東京藝術大学特任教授の瀧井敬子様からお力添えをいただき、鍛金彫刻家の相武常雄様に制作いただきました。

市では、音楽を通してみんながしあ

わせを感じ笑顔になれる取り組みを継続し、「多様性を認め、支え合い、みんなが活躍できるインクルーシブなまちづくり」を目指したいと考えています。ラインベルガー像をその象徴として、引き続き、音楽を通じた文化交流・異文化理解の促進を図り、お互いに尊重し合い誰にでも優しい長井市を目指してまいります。皆様もぜひ、市民文化会館に足をお運びいただきご覧ください。

長井市では現在、16名の地域おこし協力隊の方が活動しています。県内では最大の人数となっており、市内の優れた資源の掘り起こしや活用により、地域活性化を目指していただいております。現在、フラワー長井線の運転士としての協力隊も募集中です。運転士不足により減便せざるを得ない状況にあるフラワー長井線ですが、大きな財産として次の世代に残していきたいと思っております。市民の皆様におかれましても、利用拡大やPRにご協力くださいますようお願いいたします。